

令和5年度 第1回 医学部FD・SD

(第41回 杏林医学会例会)

対象：医学部教職員、医学部学生、大学院生等

演者 **Samuel T. Hwang** 教授

(University of California, Davis 校)

タイトル 「Eureka! Lessons learned by
a physician-scientist from the NIH」

日時 令和 **5**年 **5**月 **19**日(金) **17**時**30**分から

場所 **大学院講堂 (三鷹キャンパス)**

【講演概要】

Hwang 先生は皮膚免疫を専門とする physician-scientist であり、特に、悪性リンパ腫、メラノーマを主とする皮膚悪性腫瘍における免疫応答や尋常性乾癬など炎症性皮膚疾患におけるケモカインとリンパ球のトラフィッキングに関して多くの重要な知見をトップジャーナルに報告されています。

また、先生はかつて米国 NIH の National Cancer Institute 皮膚科でラボチーフをされており、同時期、同じ部門に皮膚科学教室教授 大山 学先生が在籍していました。また先生は、眼科学教室教授 岡田アナベルあやめ先生の Harvard Medical School の同級でもあります。先生はこれまで多くの日本人留学生を指導されていることなどから UC Davis と杏林大学の連携につながるイベントにしたいと考えております。

免疫学のご研究のみならず、診療科を越えて幅広く基礎・および臨床のお話をさせていただきますので多くの方のご参加をお待ちしております。

主催 医学部教員・職員能力開発室、皮膚科学教室、眼科学教室

共催 杏林医学会、医学部国際化推進委員会（「国際リーダー講演会シリーズ」）